

根府川（ねぶかわ）は、小田原から相模湾沿いに少し南に下ったあたりに位置しています。主として箱根外輪山の溶岩や碎屑物が海の近くまで堆積し、海岸からいきなりせり上がるように急峻な地形になっているのが特徴です。海岸の海拔は当然 0m ですが、すぐそばの根府川駅は標高が 45m もあり、まさに「崖の上の駅」です。東海道新幹線はもっと上のほうに線路があります。

根府川の海岸は主として火成岩の転石が多く、特に玄武岩質の溶岩の巨石が多いのが特徴です。他にも安山岩、デイサイト、流紋岩質の火成岩など、いろいろな火成岩の転石がありました。大磯の海岸にも同様の転石はありましたが、根府川のはサイズがまったくちがって、迫力がありました。

魅力的なフィールドなのですが、駅からこの海岸に到達するのは非常に大変です。まず根府川駅で下車します。東京駅から普通列車（湘南電車）で約 1 時間 40 分、ちょうど眠くなるころ着きます。駅舎自体もホームよりも一段上なので、さっそく階段を登ります。駅前の県道を左に曲がり、また登ります。標高 60m 付近まで登って、公民館の先を左に曲がります。そこからは信じられないぐらい急な下り坂で、スッ転ばないように注意しながら歩きます。東海道線の鉄橋（白糸川橋梁）をくぐり、更に海岸沿いの自動車道を渡ります。その先の海岸までは「けもの道」です。で、やっとこさっとこ海岸に着きます。かなり「到達困難海岸」と言えるでしょう。小学生の子どもたちを連れていくのは、ちょっと難しそうです。

この日は波浪強くうねりもあって、海はやや荒れていました。遠くに真鶴岬が見えました。

（2025 年 4 月下旬／神奈川県小田原市根府川海岸）

